

## つくば市記者会 御中

発信日：令和元年11月19日（火）

発信元：つくば市政策イノベーション部科学技術振興課

■取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

# ドイツ・ボーフム市と 科学技術分野における連携合意書を 締結します。



つくば市とボーフム市は、両市に所在する筑波大学とボーフム大学との連携事業を支援するとともに、研究成果の社会実装や産業展開、持続可能な開発等、都市間の連携を発展させるため、連携合意書を締結します。

両大学は、2007年に都市計画を中心テーマとする部局間協定締結、2016年には全学協定として学術研究交流協定を締結し、今日に至るまで、幅広い分野で連携事業及び学生・研究者の交流を行っています。

【日時】11月25日（月）11:15～12:00（取材受付：11:00開始）

【会場】つくば市役所5階 庁議室

【プログラム】※逐次通訳

- ・調印内容説明
- ・挨拶 つくば市長 五十嵐 立青  
ボーフム市長 トーマス・アイスキルヒ 氏
- ・調印
- ・来賓祝辞
- ・記者からの質疑応答
- ・写真撮影

【出席者】

つくば市：市長、副市長、市議、筑波大学関係者

ボーフム市：市長、副市長、市議、ボーフム大学関係者、企業

【ボーフム市概要】別紙参照

## ドイツ連邦共和国ボーフム市について

### 1 概要

所在地：ドイツ連邦共和国

ノルトライン＝ヴェストファーレン州

規模：364,742人（2015年末時点）

※うち、学生人口約56,000人

面積：145.44 km<sup>2</sup>

沿革：

1321年に都市として成立。ドイツ国内で一番人口の多い州に位置し、国内で16番目に人口の多い都市である。ライン川の東方に位置し、ルール工業地帯を代表する工業都市の一つ。1841年に炭鉱が開かれ、炭鉱、鉄鋼産業により栄えた。第二次世界大戦時に都市の4割が破壊され、戦後復興に取り組むが、石炭不況により、1970年代にすべての炭鉱が閉鎖。1962年にオペルによる自動車生産工業が設置されたが、2014年に工場が閉鎖されたため、現在はその約70haの工場跡地を利用した都市開発にも力を入れている。

また、1965年に開学したルール大学ボーフムを含む9つの高等教育機関を中心に、学術振興、最先端技術による都市開発や、2009年には、「ボーフムヘルスケアキャンパス」がオープンし、大学、研究機関、ヘルスケアに関する行政機関及び企業が立地するなど、ヘルスケア、サイバーセキュリティ等を駆使したまちづくり行われている。

さらに、サイバーダイナミクス株式会社が、脊髄損傷や脳卒中を含む脳神経筋疾患の患者に対する機能改善治療を目的とした新会社（サイバーダイナミクス・ケア・ロボティクス社）を2013年にボーフム市に設立。欧州市場の拠点となっている。



### 2 ルール大学ボーフム

ルール大学ボーフム（ドイツ語：Ruhr-Universität Bochum）は、ヨーロッパの中心に位置する州立大学。ドイツ国内でも上位10校に数えられる名門校である。20の学部には、130か国以上から、約43,000人（うち、6,312人が外国籍）が在籍しており、ドイツ国内でもトップクラスの学生数を誇っている。また、5,828人のスタッフが働いており、ボーフムで一番の雇用を創出している。

大学での研究は、他部門・外部連携大学との協働研究を推奨しており、知識の強化をはかっている。

### 3 市長

氏名：Thomas Eiskirch（トーマス・アイスキルヒ）

生年月日：1970年11月（49歳）

出身地：ボーフム市

略歴：

1995年 ルール大学ボーフム卒業（経済学）

2000年 ドルトムント大学卒業（経営学）

2005年 NRW（ノルトライン＝ヴェストファーレン）  
州議会議員

2015年 ボーフム市長

